

行事等

- 7月1日：第1回 OIE 連絡協議会に酒井副会長出席
7月4日：畜産技術研究会に境専務理事出席
7月5日：健全な家畜市場取引推進のための啓発普及事業専門委員会に境専務理事出席
7月8日：全国獣医師会事務・事業推進会議
7月10日：第2回関東・東京地区理事会に酒井副会長、境専務理事、北村顧問出席
7月13日：健全な家畜市場取引推進のための啓発普及事業専門委員会（特定疾病対策検討部会）に境

- 専務理事出席
：獣医師賠償責任保険中央審議会
7月19日：第28回日本動物児童文学賞審査委員会
7月20日：埼玉県獣医師会衛生支部・農林支部合同研修会に北村顧問出席
7月21日：AIPO 幹事会
：業務運営幹部会議
7月22日：日本養豚開業獣医師協会第14回活動報告会に藏内会長出席
7月25日：日本畜産物輸出促進協議会定時総会等に境専務理事出席

案内

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター (FAMS) 主催 第13回研修会「東北から One World One Health を実現する： 家畜感染症制御と食品安全を結ぶ架け橋」の開催

1 目的(概略)：

将来食品となる産業動物における感染症とそれら動物の衛生管理がどのように制御され、人の健康につながっているのか、家畜感染症を専門分野とする海外より講師を招き、われわれが生活する東北地域に立脚して考えることを目的とする。

2 日時：平成28年9月26日(月)13:00～17:00

3 場所：岩手大学教育研究棟(教育系)北桐ホール

4 募集人数：100名

5 対象者：家畜及び畜産物の生産と衛生管理に携わる者、獣医師、食料生産動物の医療・予防衛生、及び食品衛生に関わる指導的立場の者、家畜感染症と食品に興味のある者

6 内容(講演)：

①「日本における家畜感染症の制御戦略」

武久智之(農林水産省消費・安全局動物衛生課課長補佐)

②「グローバルレベルでみる家畜感染症の現状とその制御：中国における近年の豚流行性下痢症の流行とその制御」

劉 光亮(中国農業科学院蘭州獣医研究所研究員)

③「FAMSが展開する牛白血病清浄化モデル開発事業」

・「牛白血病の現状」

彦野弘一(岩手大学農学部共同獣医学科准教授)

・「牛白血病清浄化モデル開発事業説明」

村上賢二(岩手大学農学部共同獣医学科教授)

・「広まる農場 HACCP 普及活動：HACCP の現状及び東北における活動」

酒井淳一(東北農場 HACCP 研究会会長)

7 受講料：4,000円

(資料代、申込み受付後に振込用紙を送付)

8 受講証書：受講者には、本センター長発行の受講証書を授与

9 その他：研修会終了後に情報交換会有り。

会費(3,000円)は、当日別途徴収

10 研修ポイント：受講者(獣医師)には、日本獣医師会が認定する獣医師生涯研修事業ポイントを付与予定

11 申込方法：電子メールで、件名「研修会申し込み」とし、参加者氏名(ふりがな)、所属、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、情報交換会出欠を明記の上申込み

12 申込締切：平成28年9月14日(水)

13 問合せ先：〒020-8550 盛岡市上田3-18-8

岩手大学農学部地域連携推進室

担当：岡田早紀

☎ 019-621-6108

FAX 019-621-6107

E-mail : fams@iwate-u.ac.jp

案 内

第48回 獣疫学会学術集会のご案内

日 時：平成28年9月8日(木)
9:20～12:00 (9:00 開場)

場 所：日本大学生物資源科学部
湘南キャンパス 1号館142講義室
(第159回 日本獣疫学会学術集会第12会場)

内 容：シンポジウム「EcoHealth 実現に向けて
～獣疫学研究の今後の発展性～」

- ①「人獣共通感染症としての結核病」
中島千絵 (北海道大学)
- ②「エクインエストロゲン類の環境汚染と生態影響」
有菌幸司 (熊本県立大学)
- ③「デング熱とジカ熱の国内輸入例と国内侵入リスク」
高崎智彦 (神奈川県衛生研究所)

その他：当会ホームページ、メーリングリスト等にて
定期的に情報を掲載

問合せ先：獣疫学会事務局
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5
(国研農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究部門 ウイルス・疫学研究領域
(通称：農研機構 動物衛生研究部門
ウイルス・疫学研究領域内))

☎ 029-838-7793

FAX 029-838-7769

E-mail: jsve-soc@umin.ac.jp

紹 介

◎新刊

日本動物園水族館協会75年史 1939年～2014年

(公社)日本動物園水族館協会が、2014年に75周年を迎えたのを機に、この間の協会の歴史、主要事業、歴代役員等の紹介、その他関係する膨大な資料を貴重な写真とともに掲載し、75年史として取りまとめ発行された書。

発 行：(公社)日本動物園水族館協会

発行日：2016年3月31日

定 価：本体4,000円+税

送料別 (近日、協会ホームページから購入可)

問合せ先：(公社)日本動物園水族館協会

〒110-8567

東京都台東区台東4-23-10

ヴェラハイツ御徒町402

☎ 03-3837-0211

紹 介

◎新刊

病態からみた牛の輸液 水・電解質・酸塩基平衡と疾患別の輸液

輸液療法の組み立てから、すべての病態を理解するうえで基本となる体液生理学(水、電解質、酸塩基平衡)を解説した、経験豊富な執筆陣が牛の疾患ごとの病態を紐解き、その輸液療法と処方を紹介する臨床獣医師必携の書。

編 著：鈴木一由、山田 裕

判 型：B5判 352頁

ISBN978-4-89531-266-0

発行日：2016年7月

定 価：本体10,000円(税別)

発 行：(株)緑書房(チクサン出版社)

問合せ先：(株)緑書房 販売部

☎ 03-6833-0560

<http://www.pet-honpo.com/>

募 集

第21回 日本乳房炎研究会 シンポジウム・学術集会・総会

日 時：平成28年10月7日(金)

9:45～17:00 (9:00 受付開始)

場 所：国立科学博物館

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

内 容：

1 シンポジウム

『日本における乳房炎原因微生物の薬剤耐性を考える』

①日本における薬剤耐性への取組

～抗菌剤の慎重使用に向けて～

西田岳史 (農林水産省消安局畜水産
安全管理課薬事安全企画班)

②日本における乳房炎原因微生物の薬剤耐性状況と課題

河合一洋 (麻布大学)

③微生物はどのようにして薬剤耐性を獲得するのか

秋庭正人 (国研農研機構 動物衛生研究部門)

2 一般講演

3 共済セミナー

「*Streptococcus uberis* 難治性乳房炎に対する治療方法の検討」

田中秀和 (千葉県農業共済組合連合会)

4 ポスターディスカッション

5 総 会

6 日本乳房炎研究会高居百合子学術賞授与式

参加費：会員 3,000円 一般 5,000円

学生 1,000円

その他：閉会後に情報交換会有

(講堂にて立食. 参加費 4,000円)

問合せ先：日本乳房炎研究会事務局

〒981-8555

宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町1-1

東北大学大学院農学研究科内

事務局長：林 智人 (国研農研機構
動物衛生研究部門)

E-mail : nipponmastitis@ml.affrc.go.jp

URL [http://www.agri.tohoku.ac.jp/](http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html)

[keitai/nyubou/index-j.html](http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html)